



● 草の根パートナー型

平成20年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 事業名	マリンドゥケ、カタンドゥアネス、セブ、カミギンにおける狂犬病予防計画
3. 事業の背景と必要性	狂犬病、新型インフルエンザなどの人畜共通伝染病は、動物のみならず、人にまで感染する恐ろしい病気である。このうち、狂犬病は、発病すると治療方法がなく、悲惨な神経症状を示して、病院のベッドに縛り付けられたまま、ほぼ100%死亡する極めて危険な病気である。しかしながら、保健省と農業省の縦割り行政や予算配分上の障害などから、犬の主務官庁である農業省では、資金不足が顕著で、必要とする資金の1%以下程度しか、予算がない。また、狂犬病に関する的確な診断、予防、ワクチンの製造品質管理技術の改善が必要とされている。そのため、狂犬病予防の先進国である日本の獣医科病院などに対して個別の支援要請がなされ、平成18年2月から民間病院および関連NPO法人が狂犬病の技術協力および犬を対象としたワクチネーションを実施している。
4. プロジェクト目標	狂犬病予防計画が策定され、病気の的確な診断、予防、ワクチンの製造品質管理技術が向上され、適切な予防が行われる。
5. 対象地域	マリンドゥケ、カタンドゥアネス、セブ、カミギン
6. 受益者層	一般家庭及び農家
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 狂犬病予防計画が策定される。 2. 中心的参画メンバーによる、狂犬病に関する的確な診断、予防、ワクチンの製造品質管理技術が向上する。 3. 狂犬病予防に関する適切な運営管理がされるようになる。 4. 中心的参画メンバーのモニタリング活動が、改善される。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 狂犬病予防計画策定支援、狂犬病予防管理・運営計画策定の支援 2. 中心的参画メンバーに対する診断技術研修の実施、予防技術研修の実施、ワクチン小分け製造品質管理技術研修の実施 3. 地方参画メンバー間の会合等の自主運営への動機付け、地方参画メンバーから、住民に対し、犬の登録、ワクチネーションの重要性についての教育・普及・広報活動、住民参加型での登録、ワクチネーション事業の参画 4. 中心的参画メンバーに対し、モニタリングに係る研修を行う。中心的参画メンバーによる、モニタリングの実施を支援する。
8. 実施期間	2009年10月～2012年10月（3年）
9. 事業費概算額	49,701千円
10. 実施体制	特定非営利活動法人 人畜共通伝染病予防協議会、農業省畜産局
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 人畜共通伝染病予防協議会
2. 活動内容	フィリピンはじめ各国で、人畜共通伝染病の技術協力・予防活動など